

平成23年度離島対策事業協力評価報告書

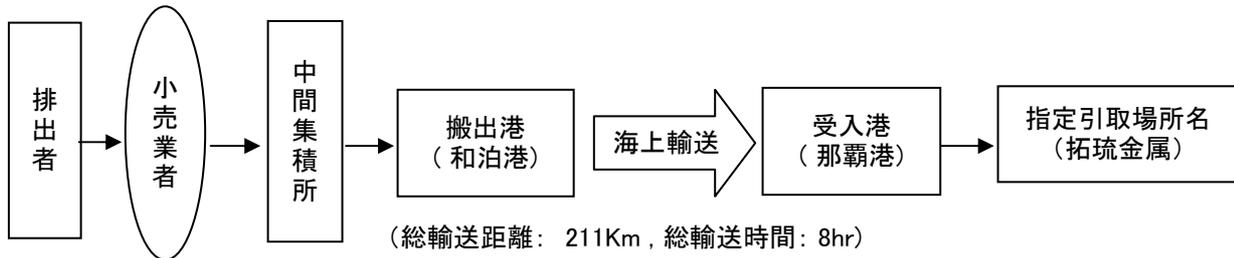
＜平成24年7月27日実施＞

第三者委員会

No.13	都道府県名:鹿児島県	市町村等名:和泊町
対象地域:沖永良部島地域(和泊町、知名町)	世帯数 [※] :2,909	人口 [※] :7,114
事業実施期間:平成23年2月1日～平成24年1月31日	海上輸送を行う者:和泊町から補助を受けた第三者	
10ftコンテナ 1基の輸送平均台数:50台	年間の輸送回数:2回	

海上輸送の方法:複数のコンテナとそれを運送するトラックをそれぞれ別々に船舶に積み込み輸送する。

補助事業/協会集計方式



輸送距離:中間集積所→搬出港(1km)搬出港→受入港(190km)受入港→指定引取場所(20km)
輸送時間:中間集積所→搬出港(0.5hr)搬出港→受入港(6.5hr)受入港→指定引取場所(1hr)

品目	エアコン	ブラウン管式テレビ	液晶式及びプラズマ式テレビ	冷蔵庫・冷凍庫	洗濯機・衣類乾燥機	合計
事業実施期間中の輸送量(台)	36	849	8	128	129	1,150
交付した助成金額(円)	57,600	1,086,720	10,240	311,040	185,760	1,651,360

※ :世帯数及び人口は、平成22年国勢調査値

参考:協力の対象となる市町村が離島対策事業を実施した協力年度 平成21年度・平成22年度・平成23年度・平成24年度

I. 輸送の効率化(少頻度多量輸送)の評価

年間輸送回数2回、コンテナ(10ft)数延べ23基で、コンテナ1基あたり50台輸送しており、覚書に記載された少頻度多量輸送を実施していると認められる。

II. その他 市町村の責務の遂行状況の評価

- ① 排出者の負担は助成単価と同額分軽減されていると認められる。
- ② 対象地域からの排出量と、助成金交付台数とは相当量の差が認められる。ただし、実績報告書によると、独自輸送を実施している小売業者に対し、同町は今後も継続して協議し、覚書に記載された輸送事業への参加を促したいとのことである。
- ③ 和泊町の責務(I. 及びII. ①、②の責務を除く。)は適切に遂行されていると認められる。

III. 成果及び今後の課題等

- ・実績報告書によると、地デジ移行に伴い大量の廃家電が排出されたが、助成金により排出者負担の軽減を図ることができ、不法投棄の防止や廃棄物の適正処理に資することができたとのことである。
- ・海上輸送費用に別費用も含まれていると推測されるため、費用の内訳の明確化が求められる。